



現代美術を中心に優れた芸術家の育成と文化の向上に務めます。

アートフェアの現状 (井上佳昭氏のレポート)

ギャラリー井上の井上佳昭氏が今年開催の「アートフェア東京」参加の報告と数々のアートフェアに参加されてきた実績を踏まえ、世界中の詳細なアートフェアの現状をレポートしてくださいました。
G.N.A会員およびアートファンの皆さまにも大変役に立つレポートであるため冒頭記事にいたしました。(編集長)



アートフェア東京は

◇世界的な経済危機の影響を受けてアートマーケットは厳しい状況と言われていますが、今年もアートの季節がやって来ました。まずは日本最大の「アートイベン

ト、アートフェア東京が4月3日から5日まで東京国際フォーラムにて開催されました。4回目となる今回のフェアは、これまでの最大規模となる

143のギャラリーが参加。例年通り古美術、工芸、日本画、洋画、そして現代アートの展示に加え、新たに若手現代アートギャラリーを中心としたフェアを東京国際フォーラムの隣、TOKI A会場で開催しました。プレビューを含めた4日間の総来場者数は、昨年の43000人を上回る45000人と過去最高を記録し、東京国際フォーラムとTOKI Aの2会場はアートファン、コレクター、ギャラリスト等、世界中から訪れた多くの来場者で賑わいました。ここ数年、近隣アジアのコレクター、ギャラリストの姿が多く見られ、特に昨年は韓国や台湾のギャラリー関係者たちが、最終日に価格交渉をしながら作品を購入する姿が目立ちましたが、今年にはコレクターが多くなり、活発な取引が見られました。私たちのブース

も8作品を出展した北川宏人が完売、今展初出品の藤部恭代が4点、その他の作家が数点づつセール出来たのでまずまずでした。何よりも毎回新しいコレクターとの出会いがあるので、作家を紹介するには、良いイベントといえます。いずれにしてもこの不況の時代に昨年以上の来場者があり、フェアの総売上も昨年と同じく、10億円あったという事は日本のアートマーケットの今後に期待が持てます。

◇その後は、北京のアートフェアCIGEが4月16日から4日間、国際貿易センターにおいて開催されました。現在北京では最大のアートフェアです。出展ギャラリーに聞くと、アートフェア東京ほど盛り上がりはなかった様です。毎年来場者が落ち込んで来ているようで、中国アートのバブルがはじけたと言われているようです。ただしGDP2桁成長を維持する中国が将来的にアジアマーケットを引っ張るのは間違いのないので、これからも中国マーケットから目がはなせません。

◇そして香港アートフェアが5月14日から4日間、コンベンション&エキジビションセンターで開催されます。昨年香港史上最大のアートフェアとして国内外から101のギャラリー、2000人の来場者を動員。アジア金融の中心地である香港は、美術品売買に税金が課されないため(中国本土輸入関税34%)、今後ますますマーケットを拡大し、スイスのアートバーゼル、ロンドンのフリーズ、ニューヨークのアーモリーショウに匹敵するアートフェアになると予想されます。

◇今後は日本の地域性や国内のアートをとりまく環境を考えると、中国を含む東アジアに健全なアートマーケットを確立することは、重要だと考えられます。

◇翌6月は、世界最大のアートフェア、アートバーゼルです。各国から選ばれた300以上のギャラリーが出展し、質、売上高すべての面で他のフェアを圧倒しています。なにしろ作品購入のために、世界中からプライベートジェットが200機以上飛んできて、空港の倉庫が美術品で溢れるのです。今年はヴェネチア・ビエンナーレと重なるために多数の来場者が見込まれます。今後のアートマーケットの動向を知る上で非常に重要なフェアと言えます。

◇そして後半は、8月に台湾のアートタイプイ、9月に韓国のKIFA、ドイツのアートフォーラムベルリン、上海のSHコンテンポラリー、10月はロンドンのフリーズ、パリのFIAAC、12月のアートバーゼル・マイアミと続きます。

◇主要なアートフェア



だけでも30、サテライトも含めると100以上のアートフェアが世界中で開催されています。ギャラリスト、コレクターやアート関係者にとって作品売買の場であり、情報収集の場としても重要な位置を占めています。

アートフェアに臨む心構え

◇もちろんアートフェアに出展することは、良い事ばかりではなく、高い出展料や経費をかけて損をするリスクもあります。世界的な経済不況の中、アートフェアの売上も急速に冷え込みつつあり、また多くのアートフェアのスポンサーが金融機関のため、存続さえ危ぶまれるフェアもあるようです。私たちギャラリー経営者にとつて厳しい状況が続くことは確かですが、日本の現代アートはもともと苦戦続きなので、現代アートが認知されつつある現状は決して悪くないと言えます。また不況に伴い投機目的の自称コレクターやアートファンなどがいなくなり、本当にアートが好きでコレクターたちは今からが買い時と考えるでしょう。また作家にとつても価格に振り回されることなく落ち着いて良い作品が制作できるの

ART・OSAKAに参加します。

8月22日・23日

ギャラリー井上、芦屋画廊 アートゾーン神楽岡

8月に大阪の堂島ホテルで開催されるアートフェアART・OSAKAにG.N.A会員の3つのギャラリーが参加します。当アートフェアは関西の画廊を中心に東京の画廊15店舗、海外からも数店舗参加し全体で47画廊が参加する規模の大きいフェアです。コレクターで漫才師のおかけんた司会の下パネルディスカッションも行われます。皆さまお誘いで是非覗いてみては如何でしょうか。お待ちしております。



G.N.Aの力でみんなが楽しみましょう

**展示会を
見て回ろう
そのたびに
発見がある**

アート・デ・アート ギャラリー
大阪府高槻市北園町14-4
TEL072-685-0466
art-de-art@market.ne.jp

ある平屋の民家なので庭を使
こから1分の場所にメイ
ン会場を移します。庭の
を替え、今の
場所と共にそ
W)と名前
DE A R T
ART・デ・
10月から
「アート・デ・
アート・ビ
ユー(A R T
ART・デ・
ART・ビ
ユー(A R T
ART・デ・
ART・ビ
ユー(A R T
ART・デ・
ART・ビ

**GNA 一玄関とリビングを飾る一
企画 住まいの現代アート展**

会期 6月10日(水)～26日(金)

芦屋画廊、アートゾーン神楽岡、オリエアート・ギャラリー
ギャラリー219、ギャラリーアトス、ギャラリー井上
ギャラリーいろはに、ギャラリーK、ギャラリーコンセプト21
ギャラリーパリの、ギャラリーマイ、プロモ・アルテギャラリー

で開催されました。
来場された美術館のキ
ュレータの方などから各
画廊の個性的なレベルの

標記
企画が
12画廊
参加の
下、6日
から26
日まで
、東ま
京外苑
前のオ
リエ・
アート
ギャラリー
下1階

高い作品が並び大変興味
ある企画だと好評を得ま
した。
また、
メイン企画は 本企画の
メインイベントとして6
月17日(水) 18時から本
顧問の国立国際美術館
長建島哲氏に「装飾と
アート」をテーマにスラ
イドを交えながら来場者
50名余りを前に興味あ
るお話しをしていただき
ました。

果たしていた。教会に
は宗教絵画が飾られ、宮
廷には権威を象徴する絵
画で飾られた。このよう
に装飾は美術の根幹であ
り場に奉仕するもので
あった。
しかし、近
代に入り宗教
的権威や時の
権力が衰退す
ると共に従来
の機能は希薄
となり、芸術
は芸術のため
にあるという



ヴェネチア・ビエンナー
レやパリの現代アートフ
エアの現状をスライドで
示しながら、今日ではエ
キセントリックで病的な
作品も芸術に包含される
時代であると
説明された。
一方、パブ
リックアート
といわれる分
野に装飾とし
ての美術を取
り戻そうとい
う動きがある
が、作家の意
識と観賞する側の住民の
間にズレがあり
撤去騒動になった例も示
されました。

居間や玄関などの生活
空間を美術品で飾ろうと
する意識はある意味で健
全であるが、何に美を感
じ何を飾るかは極めて個
性的な事柄であり正解は
ないといわざる得ないと
思うと、今日の美術を解
釈し評価する困難さを指
摘され講演を締めくくら
れました。
パーティを楽しむ
この後、建島館長にも
ご参加いただき展示会場
でワインを交わしながら
来客およびGNA会員を
交えパーティが和やかに
繰り広げられ成功裡に終
りました。

GNA東京総会報告

「住まいの現代
アート展」開催中の
6月17日15時から東
京外苑前のオリエ
アート・ギャラリー
で総会が開かれた。
その中で今後の事
業計画が大きな議題
として取り上げられ
「巡回展の持ち方」に議
論が集中した。
意見を箇条書きすると
①GNA活性化、会員増
強のために巡回展に積極

的に取り組むべきだ。②
巡回用グループモデルを
数例作り提案実行する。
③プライス設定について
は一律である必要はな
い。④今後は巡回展企画
委員の下で具体的提案を
緊急にお願いする。
その他、会計報告、役
員改選など提案了承され
た。
07年創刊以来、5号を
迎えました。07年とい
う年は世界中のアートフ
ェアが空前の売上を示し、
アジアの現代作家が過去
にない評価を得た年だっ
たように思います。
その背景は欧米各国に
経済的・文化的にBRI
CSが急接近したことで
しょう。
顧問の伊藤、加藤、金
澤各先生等からいただいた
寄稿文は世界のアート
事情分析が主でしたが、
今回は実際に世界のアー
トフェアで経験をふんで
こられた井上佳昭氏から
の迫真のレポートです。
GNAは昨年現代英国
版画巡回展を開催し国際
化に一步踏み出しまし
た。さらに会員増強を図
り、世界を視野に何が出
来るか考える時期に来て
いるように思います。

い今以上に楽しい企画を
考えたいと思います。
◆展示◆香本博交響水
彩画展・帰宅の空・(7
/7) 7/19)
日伊作家展”黒いNE
RO”(櫻井伸也とイタ
リアの仲間たち) (8/
25) 9/6)
◆展示◆熊井恭
子展 (10/9) 9/
21) 「私の作品
の一つ一つは、
私という生命体
が記憶する40億
年の生命の旅の
懐かしい情景を
表現したものに
他ならない。」(長岡造
形大学名誉教授)

GALLERYいろはに
大阪府堺市堺区甲斐町東1-2-29
TEL 072-232-1682
irohani@cup.ocn.ne.jp

▼自己紹介▲与
謝野晶子の生家
から2分のギャ
ラリー。平面、
立体の企画展。
来客が極上の展
示会に目を丸く
されるのを楽し
みにしています
す。作家活動を支えるた
め観客と顧客を増やして
いきたいと思っ
ています。
◆展示◆大坂芸大生・

卒業生による金属造形展
(7/3) 15)
アートベース・ナル展
(7/17) 29)
嘉月正忠展 (7/31)
8/9)
シチリアからの熱い風
(8/14) 26)
大串台造展 (8/28)
9/2)
芝高康造・良美展 (9
/4) 16)
北川清一展 (9/18)
ねねのりこ展 (10/2
10/14)
大家勝ステンドグラス
展 (10/16) 21)
堀田淳一・フィリップ・
ドノウエ二人展 (10/23

28)
溝端隆木匠展 (10/30
11/11)
中辻健二展 (11/13)
18)
河合勝三郎・藤井曹香
二人展 (11/20) 25)
末包恭子・土長けい日
本画展 (11/27) 12/9
浅香弘能彫刻展 (12/
11) 23)
◆展示◆小林愚
童・木彫わらべ
(6/14) 7/
10) 飛騨高山で
木彫りを40年、
5センチほどの
小さいわらべ、
笑顔がかわい
い、繊細で丁寧

アートゾーン神楽岡
京都市左京区吉田神楽岡町4
TEL075-754-0155
artzone@iris.eonet.ne.jp

▼お知らせ▲
アートフェア
(ART・OS
AKA 8/22・
23 堂島ホテル)
に参加します。
◆展示◆日
本版画協会受賞
作家展 (7/3) 21)
PORTO・DI・S
TAMPA (京都芸大在
校生版画展) (8/2) 16)
片平菜摘子木版画展
(9/18) 10/6)
ウエン・クローザス木
版画展 (10/16) 11/3)
筆塚稔尚木版画展 (11
/6) 24)
ヤナウイット展 (12/
4) 22)

編集
後記
07年創刊以来、5号を
迎えました。07年とい
う年は世界中のアートフ
ェアが空前の売上を示し、
アジアの現代作家が過去
にない評価を得た年だっ
たように思います。
その背景は欧米各国に
経済的・文化的にBRI
CSが急接近したことで
しょう。
顧問の伊藤、加藤、金
澤各先生等からいただいた
寄稿文は世界のアート
事情分析が主でしたが、
今回は実際に世界のアー
トフェアで経験をふんで
こられた井上佳昭氏から
の迫真のレポートです。
GNAは昨年現代英国
版画巡回展を開催し国際
化に一步踏み出しまし
た。さらに会員増強を図
り、世界を視野に何が出
来るか考える時期に来て
いるように思います。

